

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【児童主催の人権集会・人権目標の紹介】	1月に全校児童参加の「人権集会」を行った。運営委員会の児童の企画運営による活動で、当日は体育館で運営協議委員会の方々にも参観いただいた。大久保小学校のゆるキャラ「ミミップ」と運営委員の「人権とは何か」の劇、法務省の「じんけん自己診断」を用いた「人権クイズ」の発表を行った。集会後は、各学級の話し合い活動で人権目標を決め、思いやりのある行動(人にしてもらって嬉しかったことや自分が人に優しくできたことなど)をカードに記入した。その日から一週間を「大久保人権ウィーク」として、各学級の人権目標が給食時に放送で紹介された。さらに、人権目標は木の幹、カードは花びらで「人権の木」として、人権メッセージとポスターとともに人権コーナーに掲示され、いつでも目にすることができるようにした。
	成果 運営委員会の児童による計画によって、人権集会を行ったので、低学年でも分かりやすい内容だった。身近な事象から思いやりのある行動を想像させることで、改めて人に対してやさしくすること、思いやりをもつことの大切さについて考えることができた。また、お昼の放送で人権目標を紹介することで、さらに人権意識を高めることができた。さらに、カードにエピソードを記入することで、友達や家庭、周りの多くの人々に支えられていることを再確認し、感謝の気持ちをもつとともに思いやりの心を育むことができた。
	課題 次年度の内容を検討し、さらに人権に対する意識を高めていきたい。
2 実践2 【各教室・職員室前に人権コーナー】	各学級に人権コーナーを設置した。気持ちの良いあいさつや、思いやりのある言葉遣いや態度に関するメッセージやイラストが書かれた A4 サイズの掲示物を、定期的に更新しながら掲示した。また、教職員への意識づけのために職員室にも掲示、教職員の机にも配付した。さらに、職員室廊下にある「あいさつ・思いやり・感謝」コーナーには、日頃気持ちの良いあいさつをしている様子や低学年と仲良く遊ぶ高学年、地域の人への感謝の気持ちがこもった写真を掲示し、児童の意識を高めた。
	成果 たった一枚の紙でも、温かい言葉の書かれたものが配付、掲示されることで、児童も教職員もそれについて話すので、人権意識を高める効果は大きかった。また、思いやりのある行動や言葉遣いをイラスト付きで具体的に例示することで、児童は行動に移していた。
	課題 次年度も、各教室や職員室に人権コーナーを設置し、児童も教職員も人権意識を高め、学校全体で人権教育に取り組んでいきたい。